

科目名	幼児理解の理論と方法					開講 キャンパス	神園
担当者	高尾 兼利						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	人間理解の方法について解説する。次に幼児理解の方法について解説する。観察法、表現の理解、心理について解説する。最後に心理学の重要な理論についてその概要を説明する。						
授業の 到達目標	人間理解の方法と理論について、関心を持つ。次いで、幼児理解の方法の特殊性を理解する。さらに、方法の裏付けとなる理論の意義を知り、理論を活用する態度の基本を身につける。幼児理解の理論を人間の生涯の理解に資する理論を踏まえて、説明できる。最終的に、これを活用して、幼児の活動を実際場面で理解する態度の萌芽を感得する。						
学習方法	講義、一部演習						
テキスト及 び参考書等	『保育と教育に生かす臨床心理学』高尾兼利・平山諭編著（ミネルヴァ書房）						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験						70	
小テスト等	◎	○					
宿題・授業外レポート		○	◎			20	
授業態度			◎			10	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	人間理解の基本的視点と幼児理解						
第2週	幼児理解の方法 観察と表現の分析						
第3週	心理テストの理解						
第4週	理論の意義と主な理論						
第5週	精神分析理論						
第6週	行動理論						
第7週	認知理論						
第8週	まとめ						
第9週							
第10週							
第11週							
第12週							
第13週							
第14週							
第15週							
第16週							
備考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返っておくこと、授業後ノートを頼りに学習した内容を確認しておくこと						